

ALCA-Next 募集説明会 開会挨拶

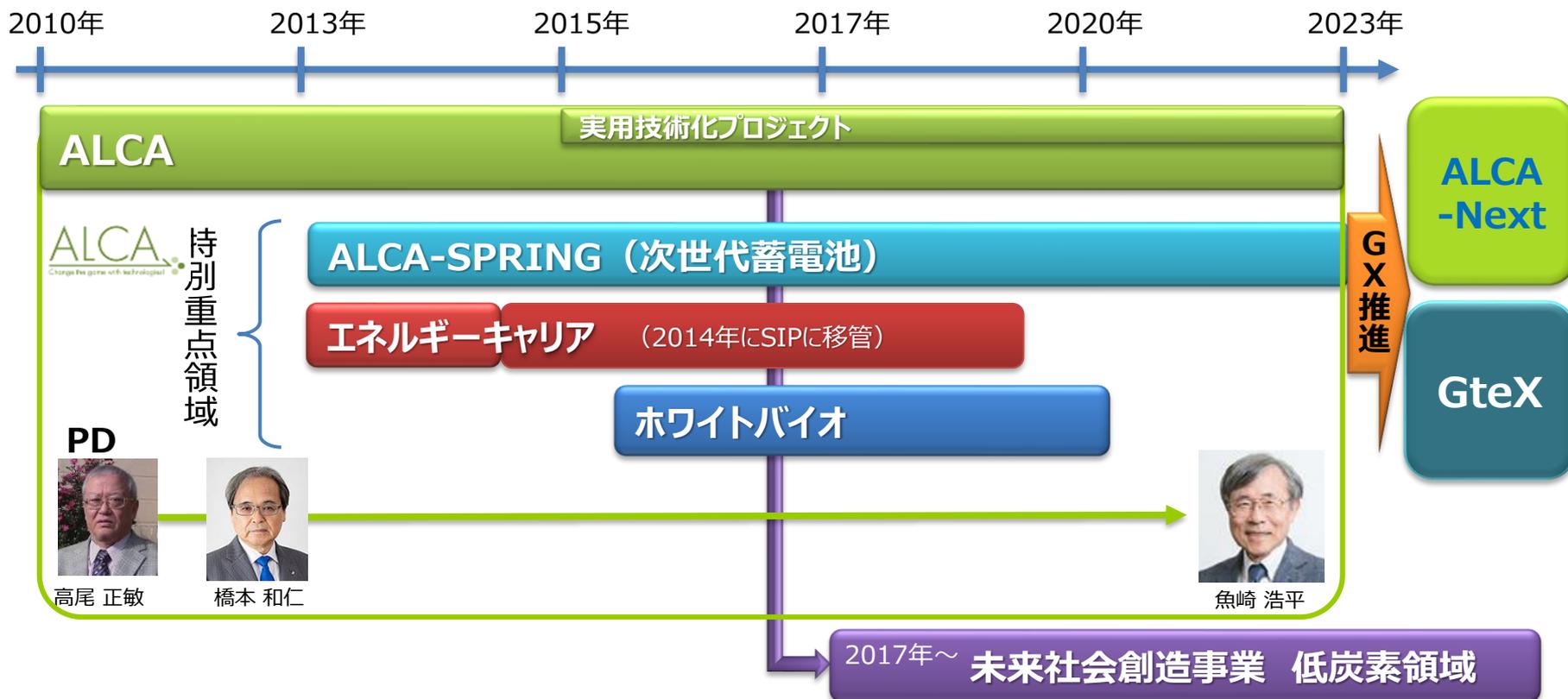
ALCA-Next
プログラムディレクター

魚崎 浩平

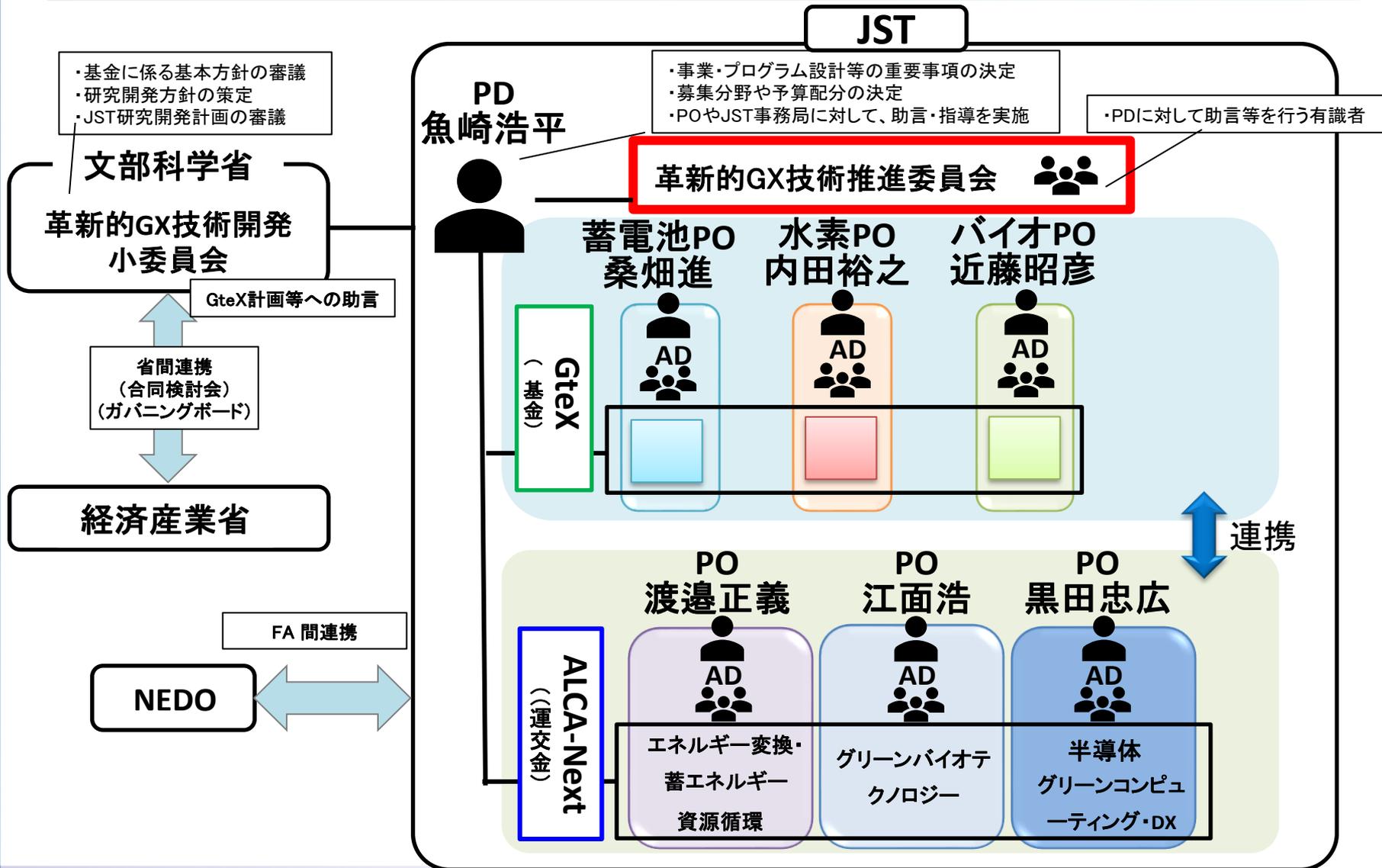
ALCA-Next
Advanced Technologies for Carbon-Neutral

JSTにおける低炭素化技術開発の推進

JSTでは、低炭素社会の実現に向け、**2010年度から「先端的低炭素化技術開発（ALCA）」**を開始。スモールスタート&ステージゲート方式で課題採択・評価を行いつつ、二酸化炭素排出量の大幅削減に資する研究開発を推進。事業再編に伴い、**2017年度からは「未来社会創造事業」**において**低炭素関連の研究開発を推進**。2050年までに成果の社会実装を目指してきた。



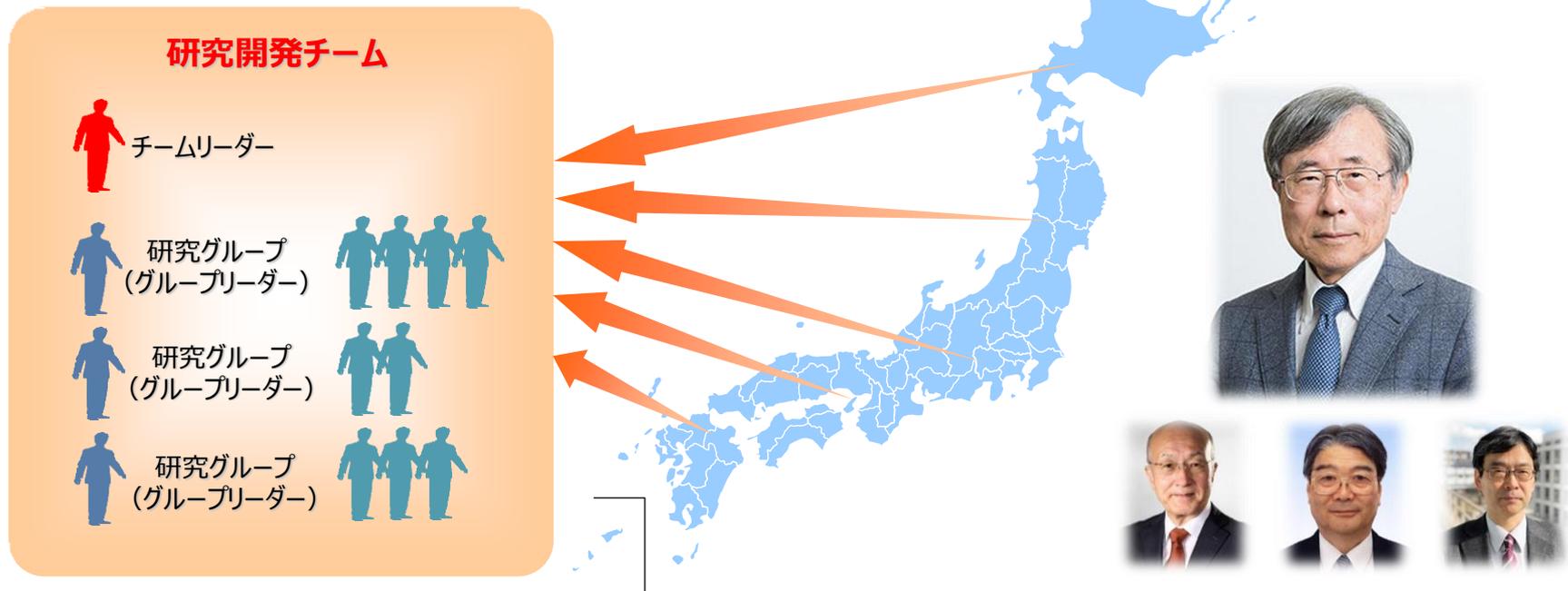
JST事業におけるGteX/ALCA-Next運営体制



GteXのチーム型研究

大学等のトップレベルの研究者が結集する、オールジャパンのチーム型研究開発

- トータルとしてのシステムやプラットフォーム等の全体を取りまとめることができる研究者が中心（チームリーダー）となり、個別の要素技術やメカニズム解明等を担うグループとチームを編成
- チームが一体となって研究開発を推進
- 異分野の知見も積極的に導入



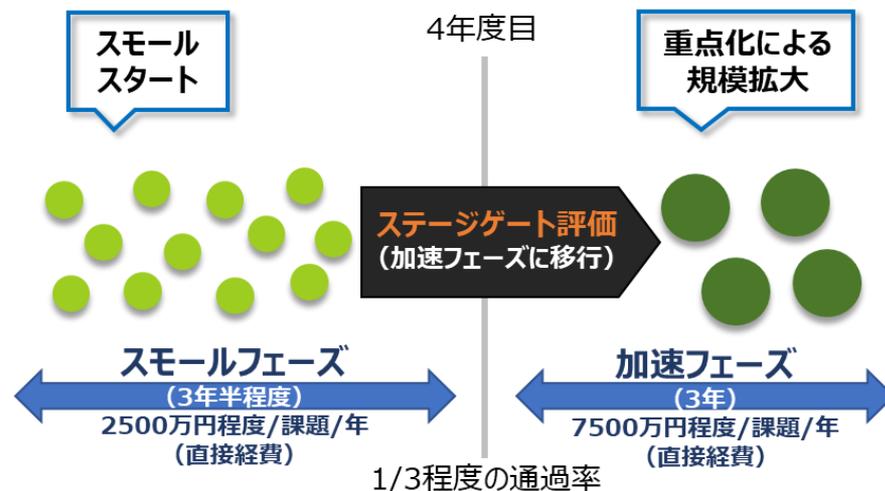
ALCA-Nextの概要

プログラムの趣旨

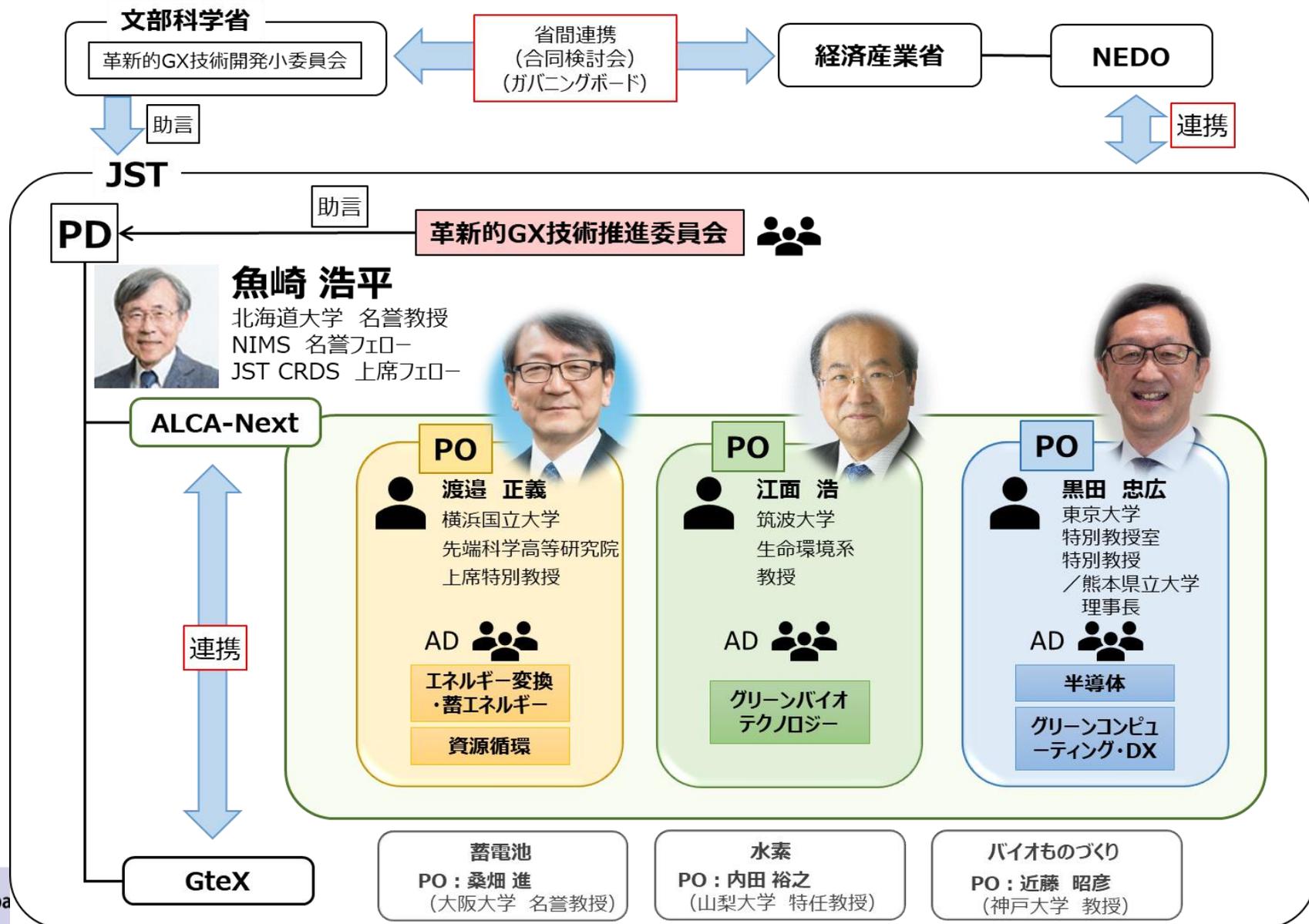
カーボンニュートラルへの貢献という出口を明確に見据えつつ、個々の研究者の自由な発想に基づき、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジー創出を目指す。

プログラムの特徴

- ・カーボンニュートラルに貢献する幅広い研究分野をカバー
- ・個々の研究者の自由な発想に基づく挑戦的な提案を積極的に採択
- ・ステージゲート評価等により技術的成熟度の向上を図り技術シーズを育成
- ・GteX等の他事業と連携により、研究開発の加速と成果の橋渡しを目指す



ALCA-Next 運営体制



2025年度募集のポイント

「ゲームチェンジングテクノロジー創出」に向けて、
さらに、多様な優れた提案を呼びかけたい。

- 新原理探求とその応用などのチャレンジングな研究
- 異分野の研究者による全く新しい提案(異分野研究の融合、多様な経験を持つ研究者・技術者が参画した研究)



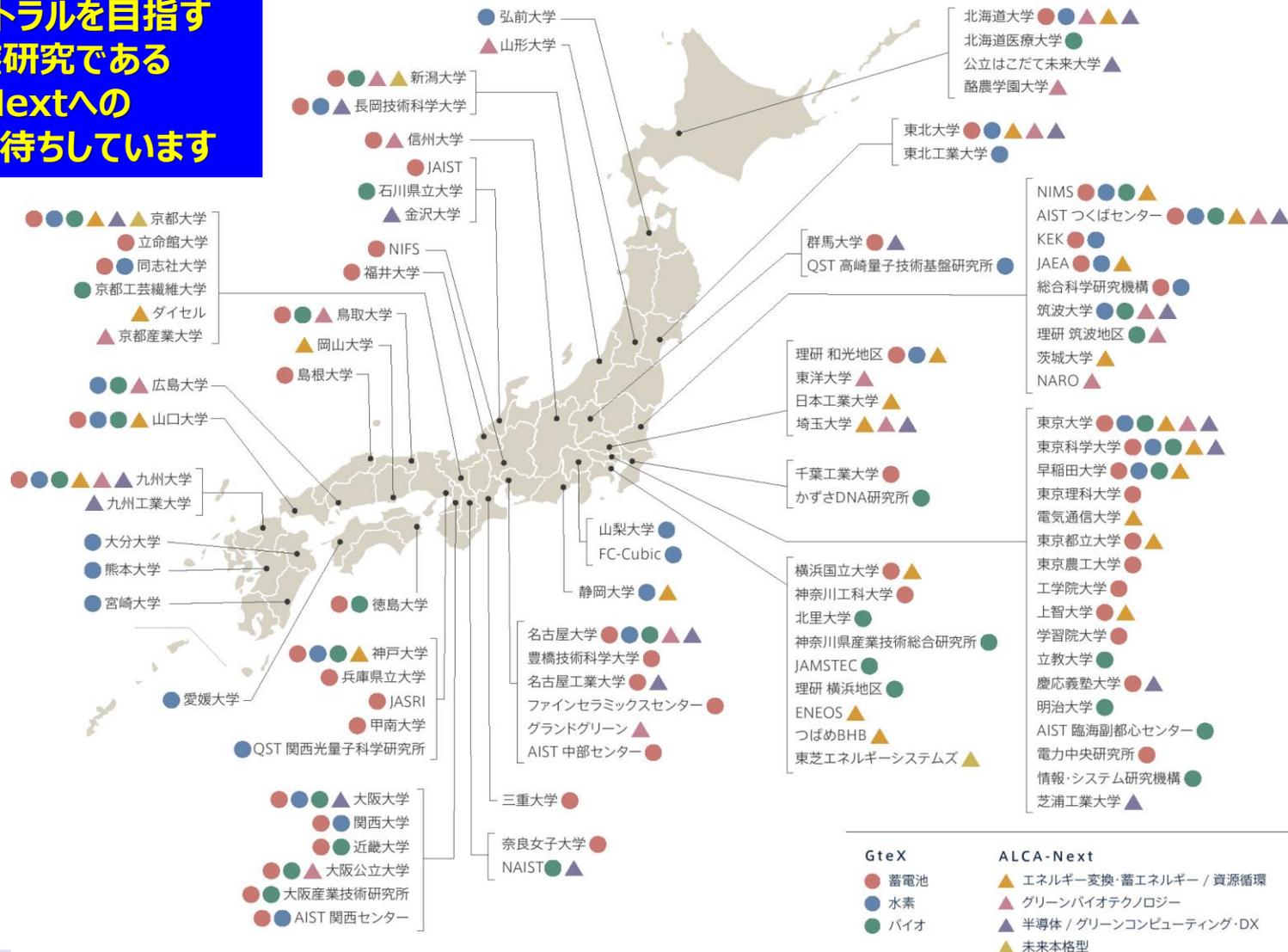
1. カーボンニュートラルに大きく貢献する本質的な技術面の関門である「**ボトルネック課題**」の内容を更新し、引き続き提示。
2. 「**フィージビリティスタディ(FS)課題**」の継続により、挑戦的・多様な研究提案の発掘・育成を狙う。
3. 技術領域に当てはまらない提案を受け付ける「**その他新発想**」

ALCA-Nextへの応募者に期待すること

- **新しい概念や科学に基づいた革新的な技術「ゲームチェンジングテクノロジー」の創出**
- **個々の研究者の自由で挑戦的な発想**
- **カーボンニュートラル貢献に向けて必要な課題解決策（シナリオ）の提示**

GteXとALCA-Nextの研究者分布

カーボンニュートラルを目指す
 挑戦的基盤研究である
 ALCA-Nextへの
 多くの応募をお待ちしています



GX実現に向けた異分野連携シンポジウム

2024年4月は全6地区（北海道、東北、つくば、東京、近畿、九州）で、GX実現に向けた異分野連携シンポジウムを開催。現地・オンライン合わせて全地区で700名を超える参加があり、うち、約4割がGteX・ALCA-Nextに参画していない研究者の参加でした。今後も、カーボンニュートラル研究への関心を高めるため、積極的にこのような取り組みを継続していきます。

**2025年度も
シンポジウム開催予定**

中部地区：
2025年4月14日(月)午後
於 名古屋大学
(ハイブリッド開催)

関東地区：
2025年4月21日(月)午後
於 TKP市ヶ谷
(ハイブリッド開催)

参考：2024年度の参加者の所属内訳
(現地・オンライン合計)

